



〒584-0078 大阪府富田林市加太 2-7-7 TEL/FAX:072-368-3135 E-mail user@ut-net.jp https://ut-net.jp

令和6年12月27日発行(第272号)毎月5日発行(特別号)年間購読料6,000円発行所株式会社ユーザー通信社発行人 植村和人

MEASUREMENT PRIDE

精密測定機器

UNO 宇野株式会社

URL http://www.uno.co.jp/

：1%減の34億9400万円、純利益は同21.6%

生産財関連主要商社の決算状況

不透明な設備投資需要の中、明暗くっきり

中間期/山善・立花エレテックは通期業績を下方修正 第3四半期/トラスコ中山・モノタロウが増収増益

生産財関連の専門商社の中間決算では、不透明な設備投資需要が続く中、各社の業績で明暗が明らかになった。山善(岸田貢司社長)の第2四半期(中間期)決算では、売上高は248億2400万円(前期比0.1%増)と前年並みを維持したが、国内外の生産財関連事業では売上高は前年同期比0.3%減の1596億4200万円となった。利益面では、営業利益は前期比

29.3%減の34億4200万円、経常利益は同34

生産財関連主要専門商社第2四半期(中間期)決算

[単位は百万円、%は前年同期比]

Table with financial data for various companies including Yamaichi, Unoi, Hiden, Tachibana, Cominix, Toray, and MonotaRO.

減の25億6700万円と減少した。通期の連結業績も、売上高5100億円、営業利益100億円に下方修正した。ユアサ商事(田村博之社長)の中間決算では、売上高は前期比0.8増の2482億3900万円、営業利益は同7.1%減の54億9700万円、経常利益は同6%減の60億1700万円、純利益では同43.2%減の36億9千万円。産業機器、工業機械の両部門とも売上高は前年同期より減少した。通期では、売上高同3%増の5424億円、営業利益同15.5%増の170億円を目標とする。日伝(福家利一社長) 37.5%減の28億1700万円、純利益同

0万円、減収減益となった。通期の連結業績も、売上高同4.8%減の2200億円に下方修正した。切削工具と耐摩工具等事業を展開するCominix(柳川修一社長)は、売上高では前期比0.7%増の140億4100万円となったが、利益では営業利益が同3.8%減の2億4千万円、経常利益同3.2%減の3億1800万円、純利益同10.2%減の1億6500万円と減少。通期の売上高は同4.7%増の300億円。一方、12月期決算のトラスコ中山(中山哲也社長)と、Mootaro(モノタロウ/田村映郎社長)の第3四半期決算では、両社とも増収増益となった。トラスコ中山は、物流コストや顧客の手間、納期を削減できる「ニアフセナユーチョク」(荷物詰合わせ+ユーザー直送)の強化などの営業活動を実施したことで、売上高は前年同期比10.1%増の2163億8300万円、営業利益同8.4%増の142億6800万円、経常利益同8.4%増

TKD 株式会社 タケダキカイ. Advertisement for TKD with contact information for various branches.

YASDA advertisement for YBMV150 and YBM640V/950V Ver.V machines. Includes text: 'ヤスタでカイケツだ', '圧倒的な精度と品質に裏打ちされた高い信頼性と安定性.', and '次世代を担う最新5軸マシニングセンタ'.

大澤科学技術振興財団

単年度過去最高の総額8423万円を助成

「基礎研究の発展に引き続き寄与、支援していく」

大澤理事長

大澤科学技術振興財団は、2024年度の研究開発助成先を決定した。研究開発助成は、「フラス加工におけるエッジ品質予知に関する研究」(8189万8千円)、「国際交流助成」(第26回)、「芝浦工業大学工学部」(8189万8千円)、「澤武一教授」はじめ33件(8189万8千円)に、愛知県豊川市のオーエスジ国際先端砥粒加工シンポジウム(ISAAT2024)、「神奈川大学工学部」(233万2千円)、「由井明紀教授」はじめ5件(233万2千円)の38件の研究者に対して、総額8423万円の助成を行った。

同財団は、1991平成3年7月に設立され、日本のモノづくりを支える科学技術の振興に寄与したいという趣旨から、国内の大学・研究所等、非営利の研究機関に



▶大澤理事長(左)より助成決定書交付の様子



▲大澤理事長、櫻井正俊常務理事、関係者らと受賞者との集合記念撮影

所属する研究者に助成を行っている。今年度の贈呈式は11月12日に、愛知県豊川市のオーエスジアカデミー内ゲストハウスで行われ、大澤伸朗理事長(オーエスジ社長兼COO)は、「今年度は、単年度として過去最高額の総額8423万円の助成を行い、設立以来の助成額も総額で約11億5800万円となった。今後も、財団創立の使命を引き続き寄与、支援して

いきたい」とあいさつした後、2つの話題を、次のように言及した。まずは、当日の前々日まで東京ビッグサイトで開催されていたJIMT OF2024について、「会場には累計16万人が訪れる盛況となったが、中でも、工作機械ブースにおける、自動化・省人化・DXといった効果を、実際に見るにつれ、五感に訴える必要性をあらためて痛感した」と強調。また、中国経済の動向について、「内需の成長鈍化による供給過剰がデフレ圧力となり、日本の自動車業界もこの嵐に巻き込まれている。この対応には、単純な価格競争ではなく、基本となる基礎技術の開発に注力し、画期的な製品・技術開発を地道に貫いていくことだと確信している」とふれた。

次に、選考委員会の帯川利之委員長(理事、東京大学名誉教授)が選考理由の説明に加え、「研究開発には、スピード感とともに、粘り強く取り組むことが大事。新しい発想による技術革新を」と受賞者を喚起。さらに、浅野勝人顧問(元内閣官房副長官)は、「研磨など金属加工技術は産業基盤を支え、技術は際限なく求められる。自身の研究開発に注力し、新風を起こしていただきたい」とエールを贈った。

この後、大澤理事長から各受賞者への助成決定書交付に続き、2021年度重点研究開発助成の「超ナノ微結晶ダイヤモンド膜の切削工具への応用」(九州大学大学院吉武剛博士(工学)、教授)など2件の成果発表が行われた。

山本猛夫記念奨学基金

新規奨学生6名を認定、累計で133名に

山善(本社)大阪市西淀川区)は、経済的な理由等で修学困難な学生をサポートする「公益信託山本猛夫記念奨学基金」の今年度授与者として、6名の新規奨学生を認定し、11月26日に山善本社にて、認定書授与式を開催した。

同基金は、山善創業者である山本猛夫氏の「勉強したくても十分に出来なかつた悔しさをバネに経営に打ち込んできた。一人でも多くの人が勉強に励んで欲しい」との遺志を継承し、1992年に設立された。以来、奨学金を受けたい学生はアジアからの留学生を含め、今回の認定で累計133名となった。授与式当日には、新規奨学生のうち2名が出席し、基金運営委員長の大阪公立大学・松本淳教授と、山善・岸田貢司社長が激励のメッセージを贈り、認定書を授与した。同社では、基金を通じて多くの学生が勉強に励む機会を持ち、社会で活躍できるように支援する「人財育成」に取り組む。社会に貢献していく。

第2回「大阪西機工会」ミーティング

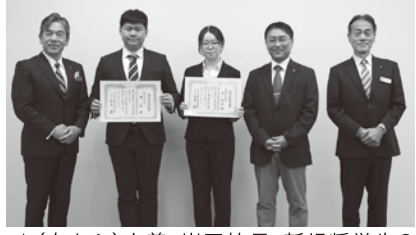
「睡眠は究極の健康術・仕事術」

大阪西機工会は10月25日、青年部(清水善徳部長)シミツ産業社長)主催による第2回「大阪西機工会」ミーティングを大阪市西淀川区の山善ビルで開催し、会員企業の若手社員および堅社員ら総勢68人が出席した。

開会挨拶に立った西野佳成会長(西野産業社長)は、「旧・業務ミーティングの名称から、昨年より『大阪西機工会』と名称変更し、開催しているが、今年度は去最多の参加人数となった。本日学んだことを、これからの人生、仕事に活かしてほしい」と述べた。

セミナーでは、日本成人病予防協会指定講師の菊池真紀氏が「質の良い睡眠と健康・仕事術」について講演を行った。

菊池氏は、よりアクティブに人生を謳歌するための生活習慣、また、質の良い睡眠をとるためのポイントとして、「①1日6時間以上の睡眠を確保(理想は7時間〜8時



▲(左から)山善・岸田社長、新規奨学生2名、基金運営委員長・大阪公立大学松本教授、山善・山添正道専務

奨学金を受けたい学生はアジアからの留学生を含め、今回の認定で累計133名となった。授与式当日には、新規奨学生のうち2名が出席し、基金運営委員長の大阪公立大学・松本淳教授と、山善・岸田貢司社長が激励のメッセージを贈り、認定書を授与した。同社では、基金を通じて多くの学生が勉強に励む機会を持ち、社会で活躍できるように支援する「人財育成」に取り組む。社会に貢献していく。

開会挨拶に立った西野佳成会長(西野産業社長)は、「旧・業務ミーティングの名称から、昨年より『大阪西機工会』と名称変更し、開催しているが、今年度は去最多の参加人数となった。本日学んだことを、これからの人生、仕事に活かしてほしい」と述べた。

セミナーでは、日本成人病予防協会指定講師の菊池真紀氏が「質の良い睡眠と健康・仕事術」について講演を行った。

ユーザー通信オンライン
<https://ut-net.jp>
 紙面掲載以外の記事はこちらで!

いつまでも「昭和」思考は続かない。

新しい力は新しいやり方で力を発揮する。
 勢いある新世代の力をオールドパワーがしっかり支えて
 次世代に引き継いでいく。

エーレックは、人生100年時代を見据えた
 人材の価値提案を行っています。

【労働者派遣事業】
御社のニーズを汲み取り、最適な人材を派遣

【フィールドメンテナンス事業】
家電・OA機器のメンテナンスサービスを提供

山善 ものづくり産業の回復と成長に向け、主要 7業種別の課題と対策を調査

▶担当者の山善・産業ソリューション
事業部戦略企画部の奥山部長



「人材不足への対応」がトップ、物流費高騰・カーボンニュートラルへの対応もトップテン内に

山善(本社=大阪市西区、岸田貫司社長)は、日本の産業構造を支えるものづくり産業の回復と成長に向けて、ものづくり産業7大業種別の直近の課題と対策について調査した。

調査は、今年8月2日から5日までの4日間、全国のものづくり産業の主要7業種(一般機械、電気機械、輸送用機械、鉄鋼業、化学工業、非鉄金属、金属製品)に携わる管理職以上の責任者700人(1業種・100人)を対象に、インターネットで集約した。

ものづくり産業が直面する直近3年以内の課題と以前からの課題については、業界全体で71%が以前から直面している課題があると回答した。その課題として、直近3年以内・以前からともに「人材不足への対応」がトップで、直近3年以内では「エネルギー

価格高騰への対応」、「AI活用」人件費高騰への対応」が上位に浮上。直近3年以内の課題では、「物流費高騰への対応」(14.6%)や「カーボンニュートラルへの対応」(12.6%)がトップ10にランクインした。

一方、直面する課題トップの「人材不足への対応」への対策では、「正社員の採用対象層の拡大」がトップで、「外国人人材」・「女性従業員の雇用拡大」を実施する企業も見受けられた。次いで、「IT活用/DX推進対策」では、「専門人材の確保」がトップで、「シニア人材の活躍」「従業員の知識・スキルの上昇」も重要との回答も。また、「原材料価格高騰への対応」への対策では、「販売製品への値上げ」がトップで、

「サブライチェーンの見直し・分散」などもランク入りした。

対策の成果では、対策を実施していると答えた企業のうち、4割以上が「成果が出ていない」と回答。対策が実施できない理由では、2割以上が「対策は実施できているが、現場は「こんなもの使えない」とのことでも何も改善されていない例もあった」とし、「対策を講じるには、問題を挙げて、縦割り組織を横断で見ることが重要」と解説した。

「サブライチェーンの見直し・分散」などもランク入りした。

対策の成果では、対策を実施していると答えた企業のうち、4割以上が「成果が出ていない」と回答。対策が実施できない理由では、2割以上が「対策は実施できているが、現場は「こんなもの使えない」とのことでも何も改善されていない例もあった」とし、「対策を講じるには、問題を挙げて、縦割り組織を横断で見ることが重要」と解説した。

「サブライチェーンの見直し・分散」などもランク入りした。

対策の成果では、対策を実施していると答えた企業のうち、4割以上が「成果が出ていない」と回答。対策が実施できない理由では、2割以上が「対策は実施できているが、現場は「こんなもの使えない」とのことでも何も改善されていない例もあった」とし、「対策を講じるには、問題を挙げて、縦割り組織を横断で見ることが重要」と解説した。

「サブライチェーンの見直し・分散」などもランク入りした。

対策の成果では、対策を実施していると答えた企業のうち、4割以上が「成果が出ていない」と回答。対策が実施できない理由では、2割以上が「対策は実施できているが、現場は「こんなもの使えない」とのことでも何も改善されていない例もあった」とし、「対策を講じるには、問題を挙げて、縦割り組織を横断で見ることが重要」と解説した。

ユーザー通信オンライン
<https://ut-net.jp>

紙面掲載以外の
記事はこちらで!



▲会場となったけいはんなプラザ・メインホール(京都精華町)



▲リアルでの新製品発表会は2018年以来6年ぶり

最先端工具『LOGIQUICK』シリーズ 新製品発表会に全国から1000名 イiscalジャパン

イiscalジャパン(大阪府豊中市新千里東町)は「ラザ・メインホール(京都府精華町)にて、「切削加工の新製品発表会」を開催した。今年発表された高生産性・高生産性を実現する最先端工具『LOGIQUICK』(ロジックイック)シリーズは、2021年の『NEOLOGIQ』(ネオロジック)シリーズ以来となる新製品であり、リアルでの新製品発表会としては、2018年の『LOGIQ』(ロジック)シリーズ以来6年ぶりとなる。全国各地から約1000名が参加した。

開会に先立ち、岡田一成社長は、「イiscalといえば『新製品』、総合切削工具メーカーとして、あらゆるお客様の加工用途に対応する革新的な

出ず最新トレンドとは？」をテーマに新製品発表会を開催した。今回発表された高生産性・高生産性を実現する最先端工具『LOGIQUICK』(ロジックイック)シリーズは、2021年の『NEOLOGIQ』(ネオロジック)シリーズ以来となる新製品であり、リアルでの新製品発表会としては、2018年の『LOGIQ』(ロジック)シリーズ以来6年ぶりとなる。全国各地から約1000名が参加した。

出ず最新トレンドとは？」をテーマに新製品発表会を開催した。今回発表された高生産性・高生産性を実現する最先端工具『LOGIQUICK』(ロジックイック)シリーズは、2021年の『NEOLOGIQ』(ネオロジック)シリーズ以来となる新製品であり、リアルでの新製品発表会としては、2018年の『LOGIQ』(ロジック)シリーズ以来6年ぶりとなる。全国各地から約1000名が参加した。

出ず最新トレンドとは？」をテーマに新製品発表会を開催した。今回発表された高生産性・高生産性を実現する最先端工具『LOGIQUICK』(ロジックイック)シリーズは、2021年の『NEOLOGIQ』(ネオロジック)シリーズ以来となる新製品であり、リアルでの新製品発表会としては、2018年の『LOGIQ』(ロジック)シリーズ以来6年ぶりとなる。全国各地から約1000名が参加した。

出ず最新トレンドとは？」をテーマに新製品発表会を開催した。今回発表された高生産性・高生産性を実現する最先端工具『LOGIQUICK』(ロジックイック)シリーズは、2021年の『NEOLOGIQ』(ネオロジック)シリーズ以来となる新製品であり、リアルでの新製品発表会としては、2018年の『LOGIQ』(ロジック)シリーズ以来6年ぶりとなる。全国各地から約1000名が参加した。

**現場の答えが見つかる
研削加工の
専門展示会**

www.gtj-expo.jp

SiC, GaN 加工技術展 2025

先進パワー半導体
ウエハ加工技術に
関する専門展示会

www.sicgan-expo.jp

2025.3.5(水)~3.7(金) 幕張メッセ

主催 / 日本工業出版 産経新聞社